

次世代IPネットワーク推進フォーラム IP端末部会会合(第4回) 議事録

●日時:平成 21 年 4 月 7 日(火) 15:00~16:10

●場所:虎ノ門パストラル新館 6 階「ペーシュ」

●出席者

IP 端末部会長 相田仁(東京大学大学院)
責任分担モデルWG リーダー 平野晋(中央大学)、
他 20 名

総務省

電気通信技術システム課 片桐企画官、畠山係長、安中氏
事務局

情報通信研究機構 黒田、山崎、永塚他

●配付資料

資料 1 責任分担モデルWG第1次報告書 Ver.1(案)に対するご意見及びこれに対する考え方(案)

資料 2 責任分担モデルWG第1次報告書 Ver.1(案)

資料 3 責任分担モデルWG第1次報告書 Ver.1 の公表について(案)

参考資料 1 IP 端末部会会合(第3回)議事録

参考資料 2 責任分担モデルWG第1次報告書 Ver.1 概要

参考資料 3 IP 端末部会設置要綱

参考資料 4 IP 端末部会構成員名簿

●議事内容:

1. 開会(事務局)

2. 配布資料確認

事務局より、配布資料の確認がなされた。

資料の過不足があれば後ほど事務局に連絡のこと。

3. 議事

(1) 責任分担モデルWG第1次報告書 Ver.1(案)に対する意見募集の結果について

事務局より、参考資料2 責任分担モデルWG第1次報告書 Ver.1 概要について説明後、資料1に基づき、説明。

質疑応答:

相田部会長: 仔細な点だが、資料1の「考え方6」の下から3行目においてエディトリアルな誤りがある。「今後責任分担モデル…」の「今後」は不要ではないか。また、「意見

7～11]に対して「考え方 8 から 14」となっている。
→文書を見直す。「考え方 8～14」をリナンバーする。

意見:「意見 2」に対して、「たらい回し」や「差し戻し」の定義について、今後の検討とされているが、これらの定義を明確にせずに公表すべきではない。

意見:資料 2 の 87～89 ページ及び参考資料 2 の 14 ページの左上の囲み中に、一事業者内でのたらい回しの記述があるが、社内におけるたらい回しを極力回避するための取組みの記述であるので修正すべき。

→本フォーラムとしては本資料を公表することにより、今後、定義を明確化していくことに意味があり、また、資料 1、2 において「たらい回し」などの表現について不適切なところは見直しを行うことで、了承された。

意見:資料 2 の 92 ページ「(4) 利用者にやさしい説明の在り方」の章建てが不自然である。

→「【その他】 利用者にやさしい説明の在り方について」とする。

相田部会長より、本日の意見を踏まえて資料を修正し、メールにて修正箇所を確認して頂いた上で、資料 3 のとおり公表することとし、了承された。

また、責任分担モデル WG においては、他のサービスや用語の定義について引き続き検討をお願いしたい旨の発言があった。

(2) その他

○ 次回の予定について

事務局より、次回の IP 端末部会会合は、開発推進 WG、責任分担モデル WG の両ワーキンググループでの検討状況を踏まえて、後日、改めて連絡することと説明があった。

○ 総務省における検討について

総務省より、総務省の電気通信サービス利用者懇談会において、本フォーラムの成果を踏まえ電気通信サービスの向上に反映していく方向であり、今回の検討に参加された企業においては、同懇談会から協力依頼があるかもしれないので、その際はご協力願いたい。また、今後、検討すべきサービス等があれば提案して頂きたい旨発言があった。

4. 閉会(相田部会長)

以上